

「百年の森林構想」と「ローカルベンチャー」による地域資本の価値向上への取組（岡山県西粟倉村）

取組概要

百年の森林構想・・・村が10年間の長期施業管理委託契約により森林の一括管理を実施、所有者の負担なく間伐や路網整備を行う。搬出される木材はローカルベンチャーが付加価値を付けて販売。

環境モデル都市・・・「百年の森林事業」による安定的な森林の二酸化炭素吸収量と水・森林の活用による再生可能エネルギーの導入を柱として2050年に二酸化炭素排出量を40%削減することを目指し、低炭素な地域づくりと経済の活性化を両立する。

ローカルベンチャースクール・・・2013年からローカルベンチャースクールを実施。ローカルベンチャー（地域資源に新たな価値をもたらす事業）の起業を支援している。

取組の効果

百年の森林事業・・・1,500haを集約化。これまで約1,400haの間伐と90,000mの作業道を整備。木材の搬出量は当初の10倍の5,000m³で林業・木材関連の雇用増は約70名。関連売上は1億円から約8億円に増加しています。

環境モデル都市・・・5名の雇用増と水力発電収入年間約7,000万円、木質バイオマスエネルギー利用で1,600万円が化石燃料から木材へ転換し地域内で還流。

ローカルベンチャースクール・・・33社が起業し、1ターン者の数は、130人（人口の8.7%）平成29年の社会人口動態は25人の転入超過。ベンチャーの経済効果は10億円に拡大。

創意・工夫した点

- ・森林を地域の自然資本と位置づけ、自治体ガリスクを取りながらその価値向上と行政施策を結びつけながら発展。
- ・ローカルベンチャーを自らリスクをとりながら事業するプレイヤーと位置付け、協働し新しい業務に挑戦。
- ・関係人口を構築し、行政にない外部人材のネットワークを活用する。

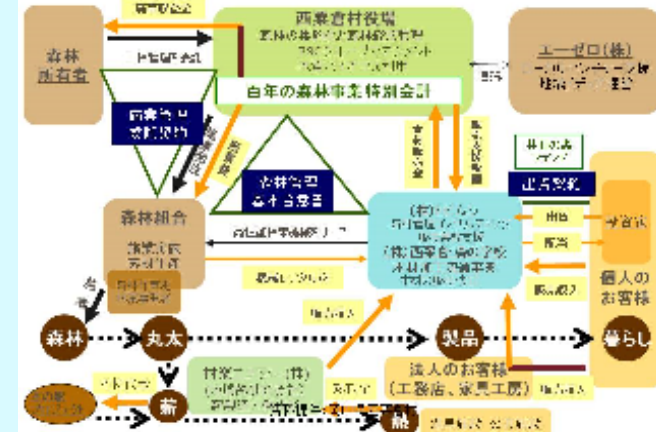
他団体へのアドバイス

- ・行政職員がまずはプレイヤーとしてリスクを取り、計画の主体となる。
- ・行政内部の意思決定が短期間で行われるように組織を組成。
- ・地域ビジョンは「こうありたい。」と発信する。
- ・地域で活躍したい優秀な人材や企業を活用。
- ・創発的戦略を組み立てる。

人口 1,487 人(H30.1.1現在)

担当 産業観光課

百年の森林事業 全体概要図



「あなたの想い」を起点に、新規事業を提案してください



ローカルベンチャースクール